生きがい通信

No.164

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内
TEL493-8011　FAX493-8040
URL:http://webc.sjc.ne.jp/narashino/　E-mail:narashino@sjc.ne.jp

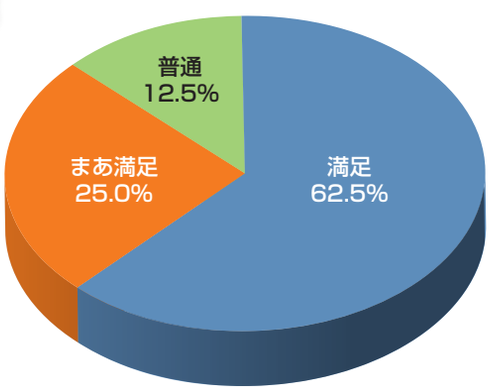
平成28年3月31日現在
会員数:938名
男性764名 女性174名

事業所等アンケート調査の結果

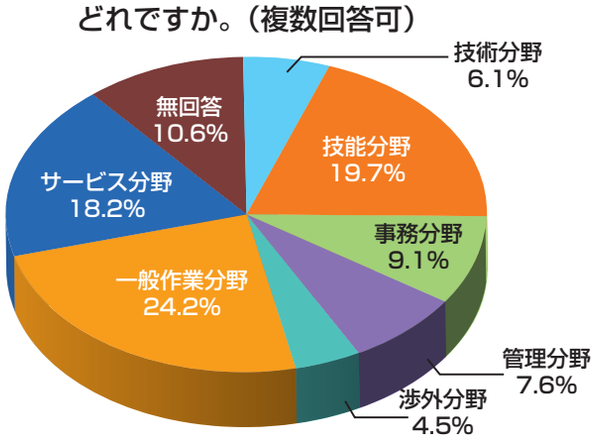
地域の高齢者の活用に対する、地域事業所等の意向、期待等を把握し、就業機会確保、地域貢献活動等の資料とすることを目的に平成25年度に続き２回目の調査を実施しました。ご協力いただきました皆様にお礼を申し上げ、調査結果の一部をご報告させていただきます。

○**調査期間**　平成28年1月25日～2月19日
○**調査対象**　就業開拓活動による情報の中から無作為に抽出した250事業所等
○**調査方法**　調査票を郵送し、回答票（無記名）は同封の返信用封筒で回収
○**回答数**　52件（回答率20･8%）

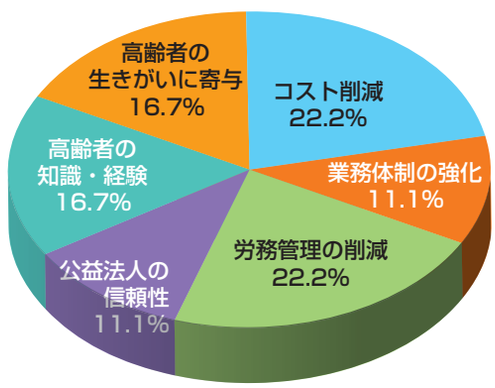
Q 当センターを活用の結果、満足度はどうですか。



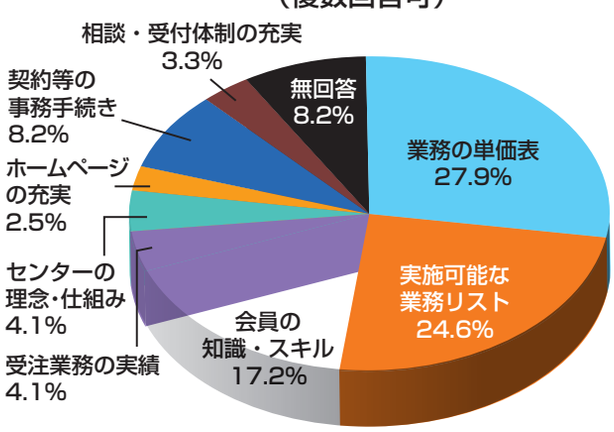
Q 「当センターを活用していない」が、今後、当センターの活用を検討してみたい業務は、どれですか。（複数回答可）



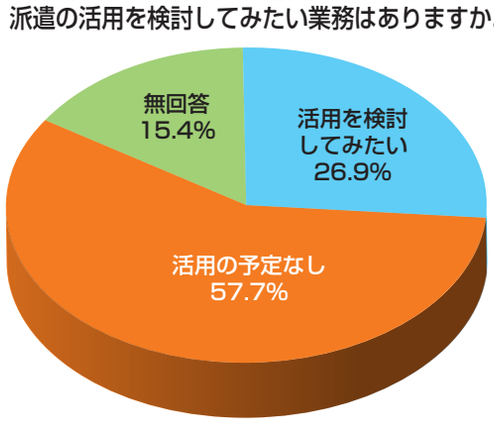
Q 当センターを活用の際、何を期待しましたか。（複数回答可）



Q 当センターの新たな利用を検討する際、必要な情報等は何ですか。（複数回答可）



Q 当センターでは、請負・委任の他に、労働者派遣事業もできるようになりました。この事業では、社員の方から指揮命令を受けての就業や、混在就業等が可能となります。今後、派遣の活用を検討してみたい業務はありますか。



職場紹介

まさき歯科医院

山口昭子（津田沼地区）

がんばっています！　わたしたち

まさき歯科医院は平成25年5月にリニューアルオープンしました。それに伴い診療時間前のクリーンスタッフとして、就業することになりました。

今までを振り返ると、一昨年の台風や60年ぶりの大雪の時の大変さが思い出されますが、職場にもすっかり馴染み、充実した毎日を過ごしています。当初2名でスタートしたお仕事でしたが、現在は4名で就業しております。

シルバー人材センターからは、私達クリーンスタッフ4名の他、医療器具洗浄業務に4名、計8名がお世話になっております。女性の多い職場ですが、院長先生、副院長先生をはじめ、皆さん優しく、良い方ばかりです。

スタッフの皆さんの若いパワーに溢れた笑顔や顔見知りになった患者さんとの触れ合いも楽しみの一つです。また、院長先生の愛犬『ゴンジ』の可愛らしさにも癒され、ともすると単調になりがちな空気に変化と良い刺激を与えてくれます。

こうして高齢者が仕事を持ち、生き生きと過ごせる事は、心身の健康促進にも繋がり、素晴らしいことだと実感しています。

【親切・誠実・思いやり】を大切に笑顔で挨拶を心がけ、【勇気・やる気・元気】をモットーにシルバー人材センターの一員として頑張っています。

「私の生きがい」

山﨑　万里子（東習志野地区）

今日から久しぶりに仕事をすることになった。

私は七十二歳。十二年ぶりのお勤めだ。

シルバー人材センターに平成二十七年七月二十五日に入会して初めての仕事となる。自宅から自転車で三分ほどで行けるスーパーの品出しの仕事だ。就業時間は午前八時から正午までの四時間。先週に研修を1日行い、今日から正式就業である。

指定のエプロン、三角巾をかぶり、段ボール箱を積んだ台車を店内へ運ぶ。今日はパンを並べることからはじまり次は冷凍食品。このスーパーにはお客としてよく来ているがパン、冷凍食品とも前々から種類の多さに驚いており探すだけでも大変である。

開店の合図で売り場の通路に並び、

「おはようございます。いらっしゃいませ。」

お客様は私が今日からの店員とは見分けがつかず、品物の場所を聞かれたり、あっという間の四時間だった。

私は改めて健康で働けることの素晴らしさを知った。そして、久しぶりの午後の自由時間。毎日が自由時間だったがメリハリのある生活が戻ってきた。

これは、昨年十一月一日の出来事です。

現在もこのお仕事を続けていてこの仕事こそが「私の生きがい」になっていることは間違いありません。七十過ぎで仕事に行くことができる幸せ、多くの人と話せる幸せ。

少しでも長く続けられることを祈る毎日です。

あのころの習志野の風景②

▶谷津遊園

開園は意外と古く、大正14年。昭和に入ってから海水プール、野球場が造成され米大リーグも招へいしたという記録も残っています。

▶伊藤飛行機研究所（鷺沼海岸女流飛行士1号誕生の地）

稲毛海岸にあった飛行場が、災害（大暴風雨）の影響で鷺沼海岸に移転。そこで誕生したのが女流飛行士「兵頭　精さん」です。
（昭和6年撮影）

▶クジラがあがった

昭和29年ころ、鷺沼浦（現在の袖ケ浦5丁目）でクジラがあがったことがありました。その名残が「袖ヶ浦西近隣公園」にあるモニュメントです。

フナバラヨシノ（船原吉野）

関　博夫（花咲地区）

就業先への途上、『実籾本郷公園』横の多目的広場（野球場）内に数十本の桜が植えられている。ここの桜は結構綺麗なので4～5年前から毎年花見に来ている。

〝桜〟といえば【八重桜】か【ソメイヨシノ】が有名で、公園内にもその他に【河津ザクラ】が追加になった程度である。

そんな中、野球場のレフトポール付近に【フナバラヨシノ（船原吉野）】「ソメイヨシノに似ていて、4月上旬に白色で一重の花が咲く。竹中博士が三十年前に伊豆半島の船原峠の山中で発見…」と、プレートに説明されている。船原峠というと私の田舎が近く、昔はバスで時々通ったものです。懐かしくなり、つい紹介させていただきました。

2月は梅林公園、3月下旬から4月にかけては実籾本郷公園と決めて、毎年、春の息吹に触れている。

行事予定

入会説明会（定例）
◆毎週第2、第3水曜日午前9時30分～
▼シルバー会議室

就業相談（予約制、会員限定）
◆毎週第2、第3水曜日午後1時30分～（30分単位）
▼シルバー会議室

リサイクル自転車販売
◆毎月5日、20日　午前9時00分～正午
▼袖ヶ浦作業所

刃物研ぎ作業
毎月5日、12日、20日　午前9時00分～
▼袖ヶ浦作業所
◆毎月第4木曜日　午前9時00分～
▼シルバー作業室
※その他、各町会、マンション、集合住宅自治会などへ出張させていただいております。詳細は、シルバー事務局にお問い合わせください。

書道教室
◆毎月第1、第3火曜日　午後1時30分～
▼シルバー会議室
※入会希望の方は、シルバー事務局にお問い合わせください。

（事務局）

『ホームページアドレス変更のお知らせ』

次のようにホームページアドレスが変更になりました。「リンク集」「お気に入り」等変更をお願いいたします。

http://webc.sjc.ne.jp/narashino/

平成28年度「事業計画」「収支予算」

平成28年3月23日㈬に開催されました、第12回理事会において、平成28年度「事業計画」「収支予算」が承認されました。

主な内容につきまして報告させていただきます。なお、詳細につきましては6月21日㈫に開催予定の定時総会で報告いたします。

『事業計画』

当センターは、「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、高齢者に就業の機会を提供し、生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、地域社会づくりに寄与することを目指して、国の高齢者施策、習志野市が目指す「未来のために～やさしさでつながるまち」基本構想等及び地域とも連携し、更に公益社団法人としての社会的役割を果たしていく必要があります。このことを踏まえ、「中期基本計画（平成26年度～平成30年度）」に基づき次の4項目を重点施策として、事業を推進してまいります。

①会員の増強
②就業機会の拡大
③安全・適正就業の推進
④運営体制の充実

『収支予算』

平成28年度収支予算は、月例経済報告、平成27年度決算見込み等を踏まえ、収支予算総額を経常収益・費用それぞれ前年度対比3．4％、1千669万9千円増の5億120万8千円を計上しました。

①経常収益（収入）
受託事業収益で約1千570万円増、その他、労働者派遣事業等受託収益と受取補助金等で増を見込みました。

②経常費用（支出）
経常収益計と同額を見込み、当期経常増減は、0と見込んでいます。

（事務局）

『川柳』

お題：今回はお題ありません。（自由です）

✽老いの坂　メタボとボケの　コラボあり
（ペンネーム八回転居　大久保地区）

✽感謝する　言葉態度で　感謝され
（3678西田梓　藤崎地区）

✽能はなし　取り得あるのは　丈夫だけ
（2874小倉紘　谷津地区）

✽ゴミ出しは　啄む鳥と　知恵くらべ
（3048宮口　克文　袖ヶ浦地区）

✽良き友と　語る言葉も　はずんでる
（1919山口昭子　津田沼地区）

✽定年ご　生きがい求め　会員に
（1516橘川　義三　鷺沼台地区）

今後も皆様から『川柳』募集いたしますので奮ってご応募ください。

次回（7月号）のお題は次の通りです。

【夏】【五輪】

締め切りは「6月10日（金）」必着とさせていただきます。

編集後記

「生きがい通信」が皆さんのお手元に届く頃には桜前線も北海道に到達している頃でしょうか？

桜の開花時期は毎年ほぼ決まっており、気温の変化が激しい年でも一週間とずれることはないそうです。

【そのメカニズムとは?!】

桜の花芽は、その年の花が散り、夏ごろまでには翌年の花芽がつくられるそうです。これを「花芽分化」といいます。

その後「休眠」状態になり、休眠した花芽は、秋から冬にかけての一定期間、低温にさらされることで、眠りから覚め、開花の準備を徐々に始めます。これを「休眠打破」といい、気温などの条件さえ合えば、すぐにでも【咲ける】という状態になります。これには『開花ホルモン』が重要なカギとなり、越冬し、寒さをしのぎ、その後、気温の上昇と共に開花ホルモンの活動が活発となり開花のサインを送るそうです。

自然って不思議ですね。

（広報部会）